

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年9月11日
周南市立住吉中学校

令和7年4月16日(水)、17日(木)に3年生を対象として実施した全国学力・学習状況調査(今年度は「国語」「数学」「理科」の3教科で実施)の結果について、結果の分析を行い、課題解決に向けて取り組んでいます。

《教科ごとの結果》

国語	「言語の特徴や使い方に関する事項」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本校 県平均を若干下回っています。	「書くこと」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本校 県平均を若干下回っています。
	「話すこと・聞くこと」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本校 県平均をかなり下回っています。	「読むこと」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本校 県平均を若干下回っています。
数学	「数と式」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本校 県平均を若干下回っています。	「関数」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本校 県平均を若干上回っています。
	「図形」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本校 県平均を若干上回っています。	「データの活用」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本校 県平均を若干上回っています。
理科	全体的な結果が IRT バンドで示されています。本校は、IRT バンド5の割合が全国・県平均を若干上回り、IRT バンド2の割合が全国・県平均をかなり上回っています。IRT バンド4と3は、全国・県平均を若干下回っています。このことから、最も高いバンドと低いバンドの割合が高く、中間のバンドの割合が低いことが分かります。 ※IRT バンドについては、別紙をご覧ください。	

〈国語〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○できていること

- ・ 目的に応じた表現を選択する問題の正答率が高い。
- ・ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることのできる生徒の割合が高い。

△努力を要すること

- ・ 文脈に即して、語句を正しく使うことができていない。
- ・ 文章で答える問題に対し、条件に即した回答を書くことができていない。
- ・ 読み手の立場で文章を推敲し、表現を整えることのできない生徒が多かった。

【さらに学力を向上させるために、今後国語科で行いたい取組】

- ・ 漢字や語句の意味や用法など、基礎的な言語事項を復習する機会を増やす。
- ・ 日頃から本を読むことや文章を書くことを心がけ、身近なところから表現力を向上させることができるように働きかける。
- ・ 場に応じた言葉遣いができるよう呼びかけ、言語に関する社会的スキルを向上させる。
- ・ 授業の中で、文章を書いたり口頭で発表したりする機会を増やし、振り返りをさせることで、スキルや意欲を高める。

〈数学〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○できていること

- ・ 基本的な問題（知識・技能の問題）の正答率は高かった。
- ・ 文章問題を読み取り、文字を用いた式に表すことができる。
- ・ 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができる。

△努力を要すること

- ・ 図形の性質の証明では、筋道を立てて、事柄が成り立つ理由を説明することができていない。
- ・ 考えた根拠を記述する問題では、読み取ることはできているが、表現する力に課題があり、必要な文章表現をすることができていない生徒が多かった。

【さらに学力を向上させるために、今後数学科で行いたい取組】

- ・ 日常的な事象について調べたり、説明したりするときに、根拠を明確にしながら筋道を立てて説明する場面を設定する。（言葉だけではなく、図、表、グラフ、式を利用して数学の言語活動を行う）
- ・ 長文から必要な情報を読み取り、問題を解決する場面を増やす。
- ・ 日常と数学を結びつけるため、教科横断的な視点をもてるよう教科間で情報共有を行う。
- ・ 家庭学習で基礎学力の定着や応用力の向上が図れるよう、スタディポケットを活用し、自己学習調整力を身に付けさせる。

〈理科〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○できていること

- ・ 基本的な知識を問う問題の正答率が高かった。
- ・ 探求の結果から、新たに生じた疑問などに着目した振り返りを記述することができていた。

△努力を要すること

- ・ 生命の分野において、概念を使う問題や実験・観察の操作から読み取る問題の正答率が低かった。
- ・ 探求の課題を自ら設定することができる生徒が少なかった。

【さらに学力を向上させるために、今後理科で行いたい取組】

- ・ 探求実験のときには、課題の設定から実験計画の立案、探求の振り返りまでを生徒自ら行う時間を設ける。
- ・ 観察や実験の操作は、「なぜ行うのか？」という視点を生徒がもてるように働きかける。
- ・ 身の回りの事象を説明する際は、根拠をもって説明することを繰り返し行う。

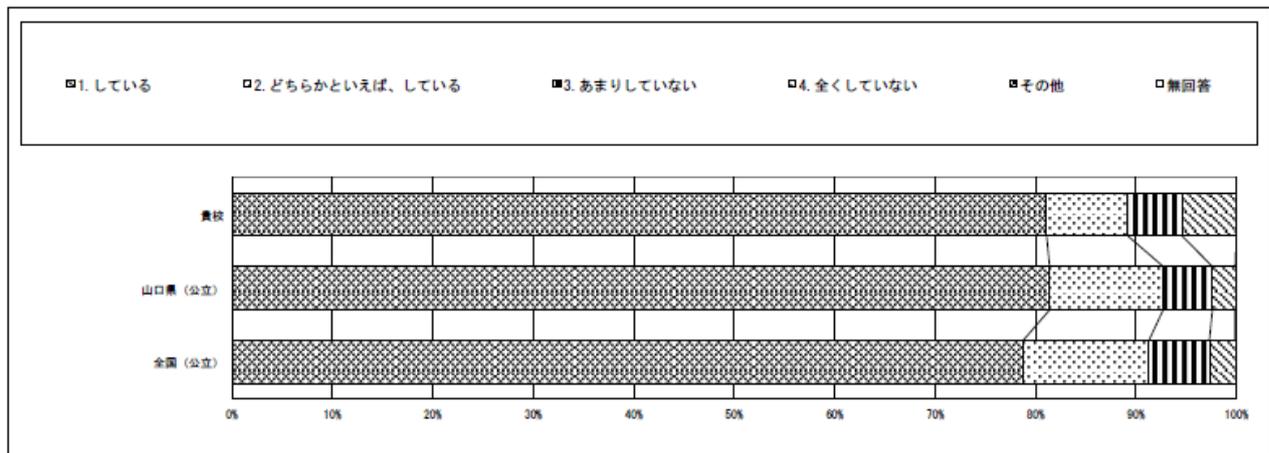
《生徒質問紙に関する結果》

この調査には、学力と生活がどのように関わっているかを調査する「質問紙」があります。ここでは、教科学力の結果に表れる得点や平均点だけではなく、教科学力を高めるための基盤となる、生徒の意識や習慣を「質問紙」の結果から分析します。

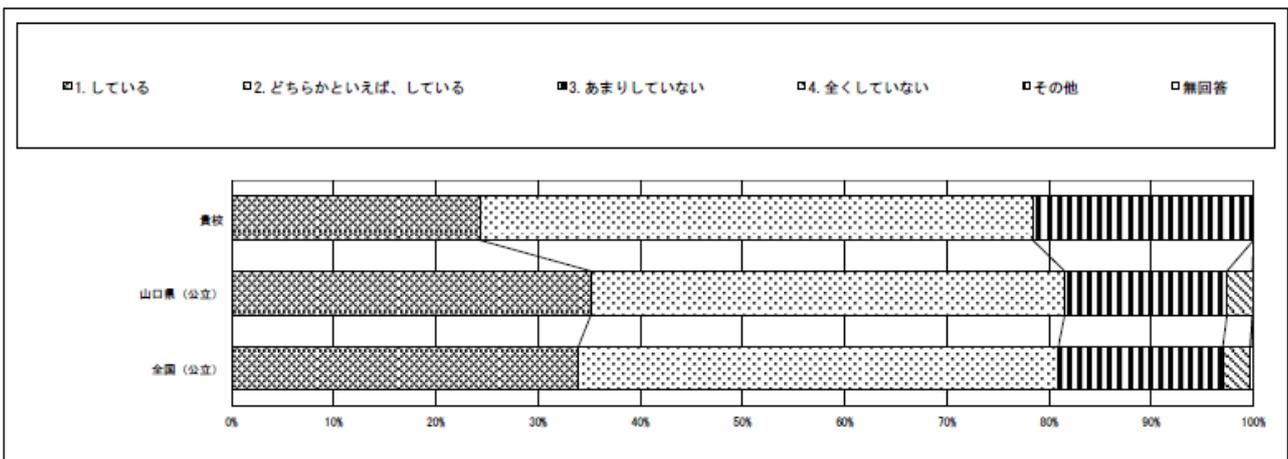
以下に、「質問紙」の質問と生徒の回答の中から、保護者の皆様にも特に知っていただきたい項目を抜粋し、掲載しています。グラフは上から「本校」「山口県」「全国」となっています。

<生活習慣・学習習慣>

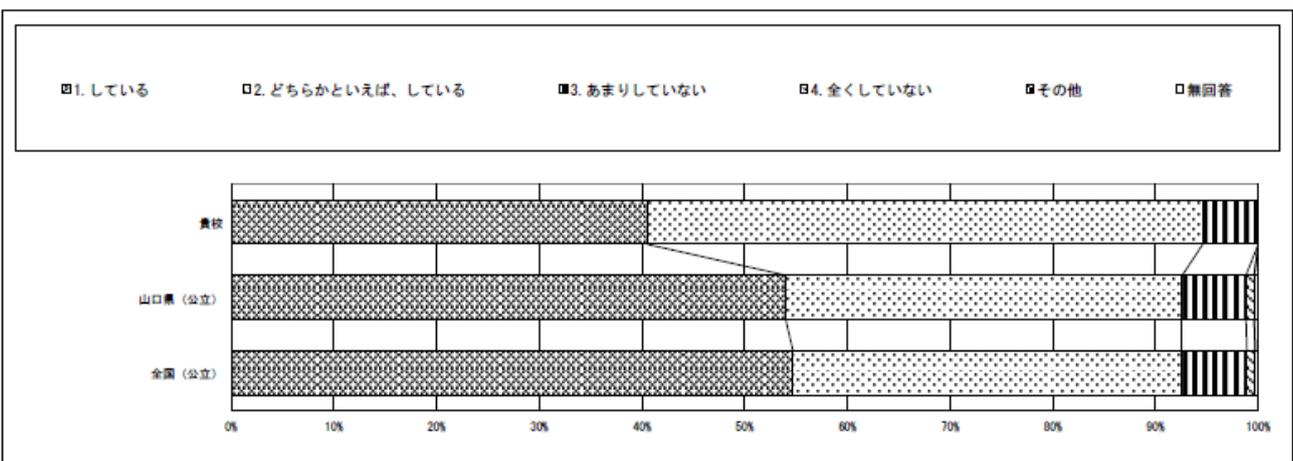
●朝食を毎日食べていますか。



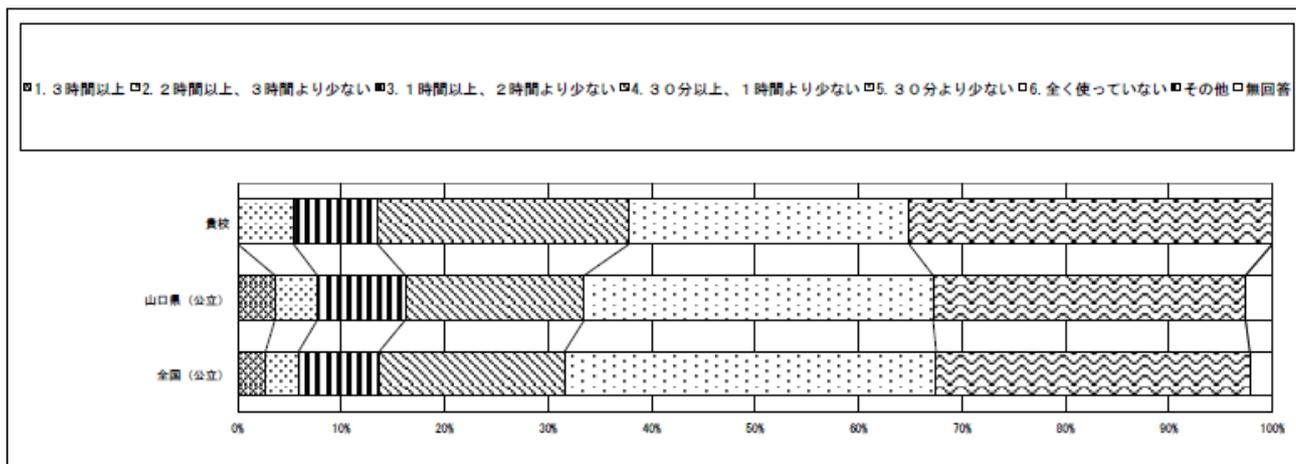
●毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



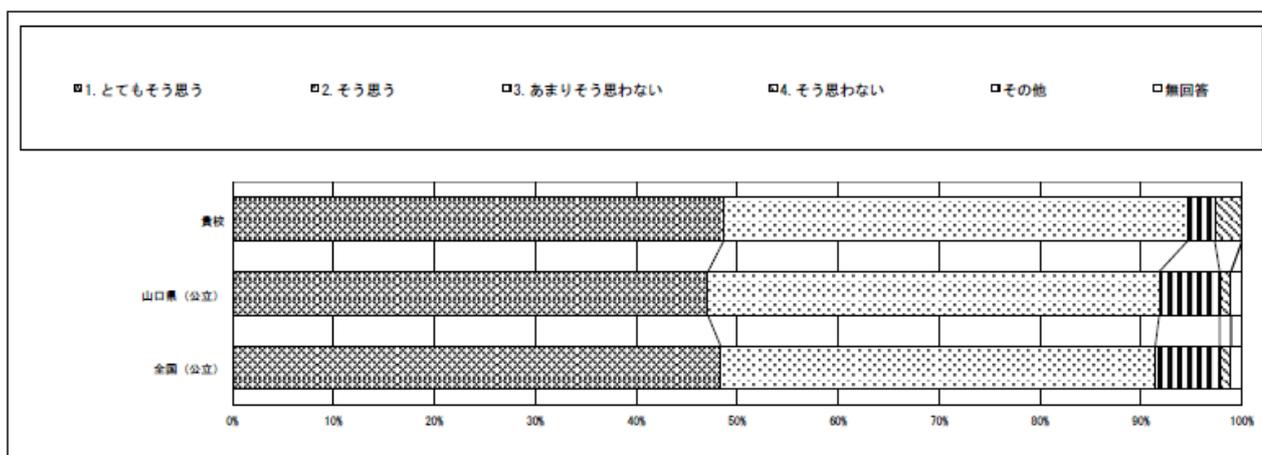
●毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



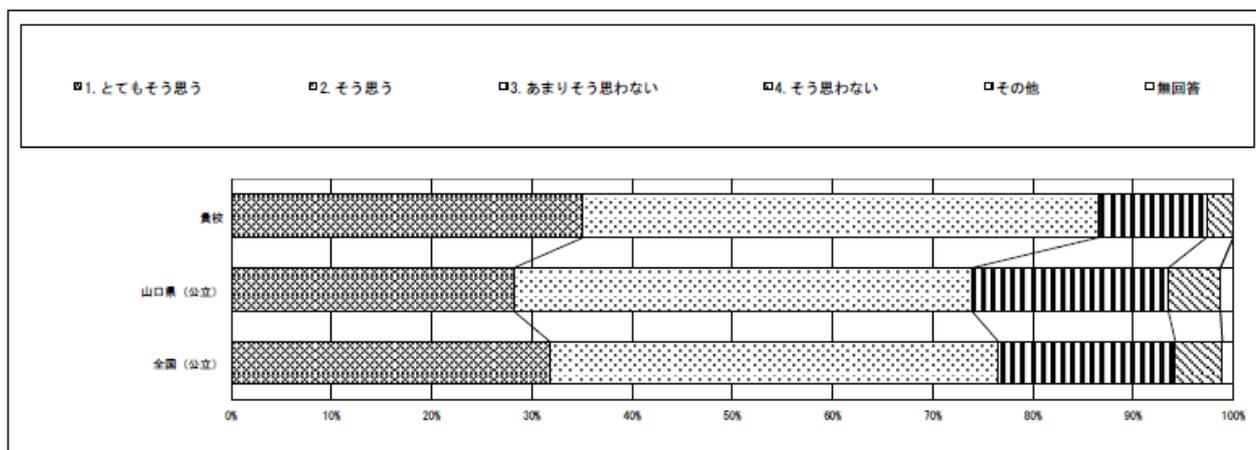
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。



- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか。



- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか

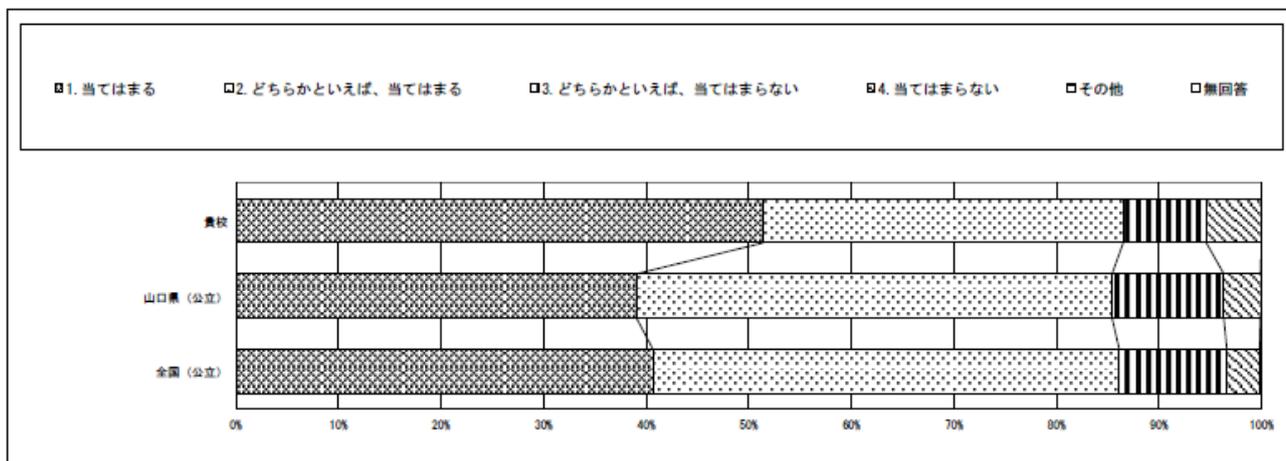


生活習慣に関する質問事項において、「している」という回答が、全国・山口県平均と比べて低かったことが分かります。基本的な生活習慣はどんな活動においても大切です。朝食の摂取や起床時間・睡眠時間の確保は、学習の効果にも大きく影響するので、よりよい習慣を定着させていってほしいと思います。

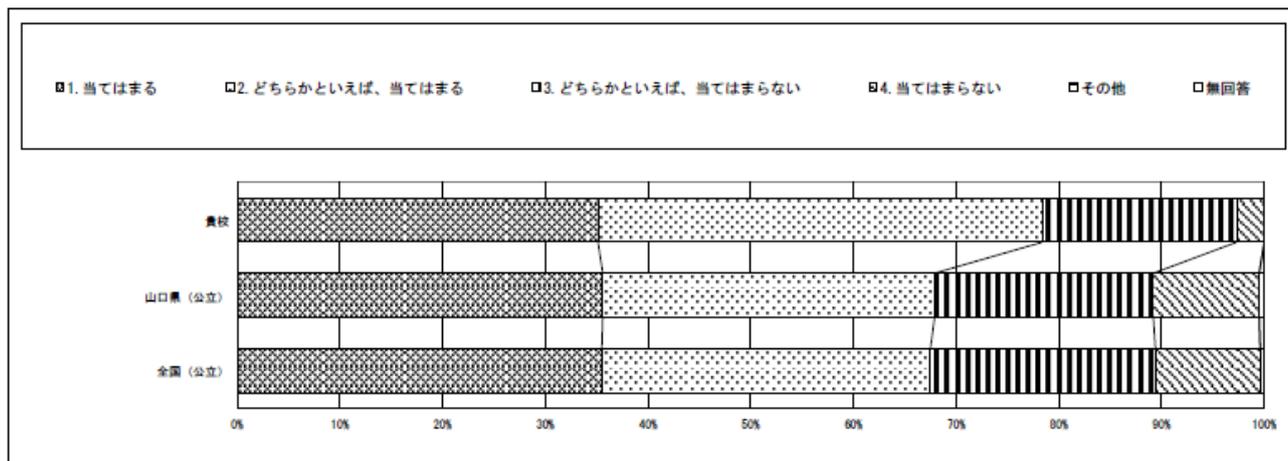
ICT の活用に関する質問には肯定的な回答が、全国、県平均と比べて高いことが分かります。授業時間以外で ICT を使用して学習している時間も比較的多いので、今後はさらに、ICT を活用して取り組む課題も充実させていきたいと考えています。

<規範意識・自己有用感>

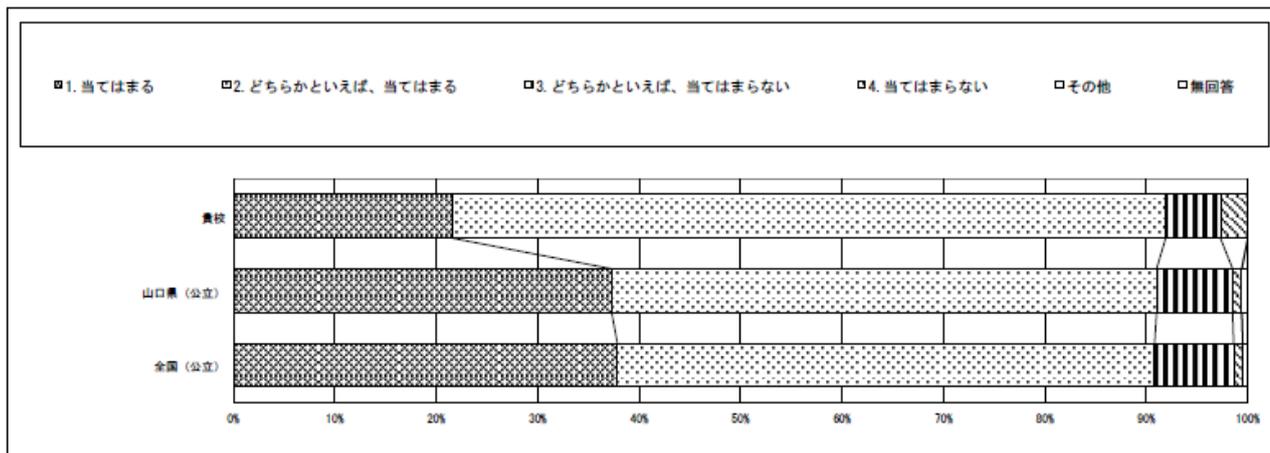
●自分には、よいところがあると思いますか。



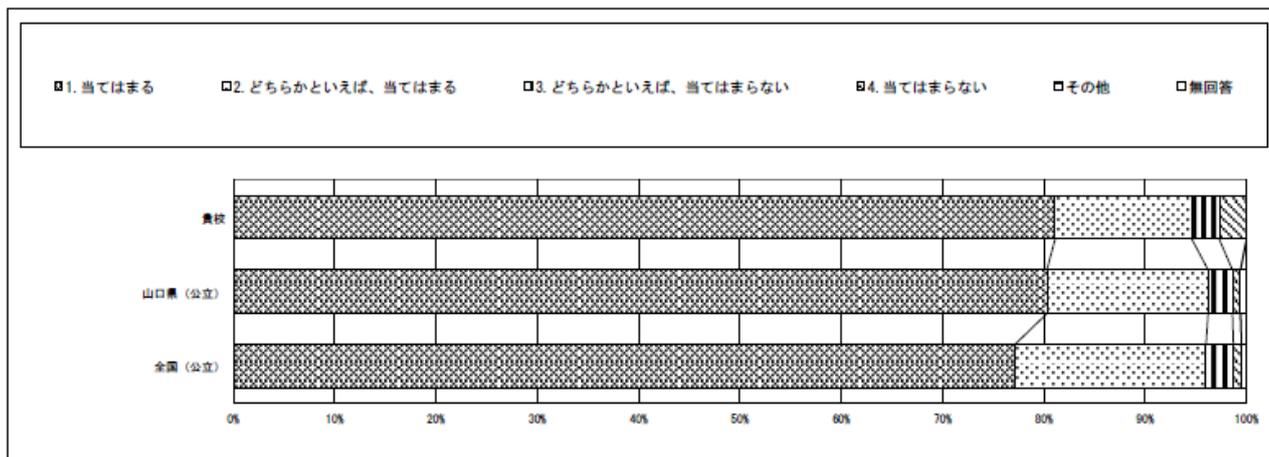
●将来の夢や目標を持っていますか。



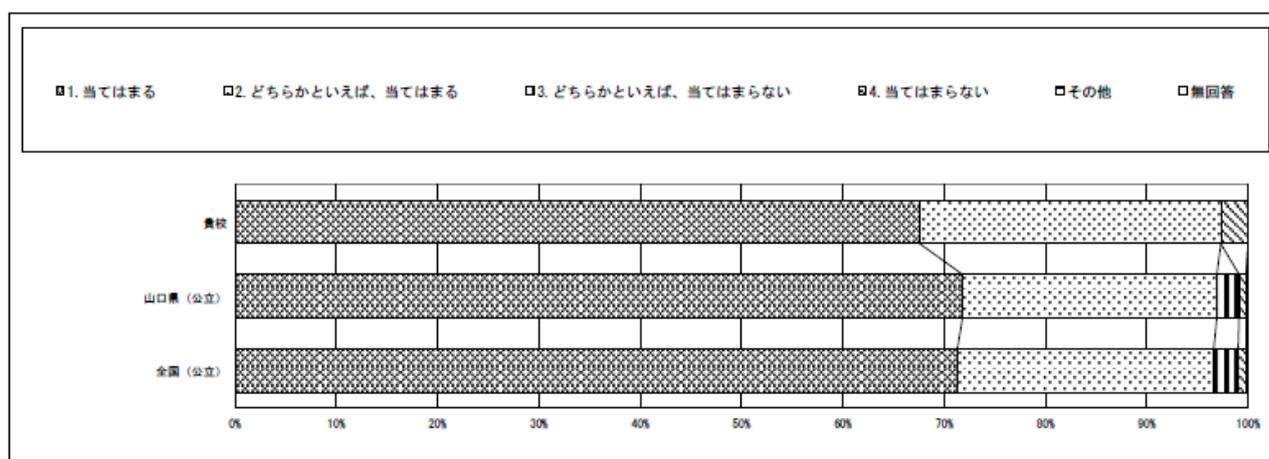
●人が困っているときは、進んで助けていますか。



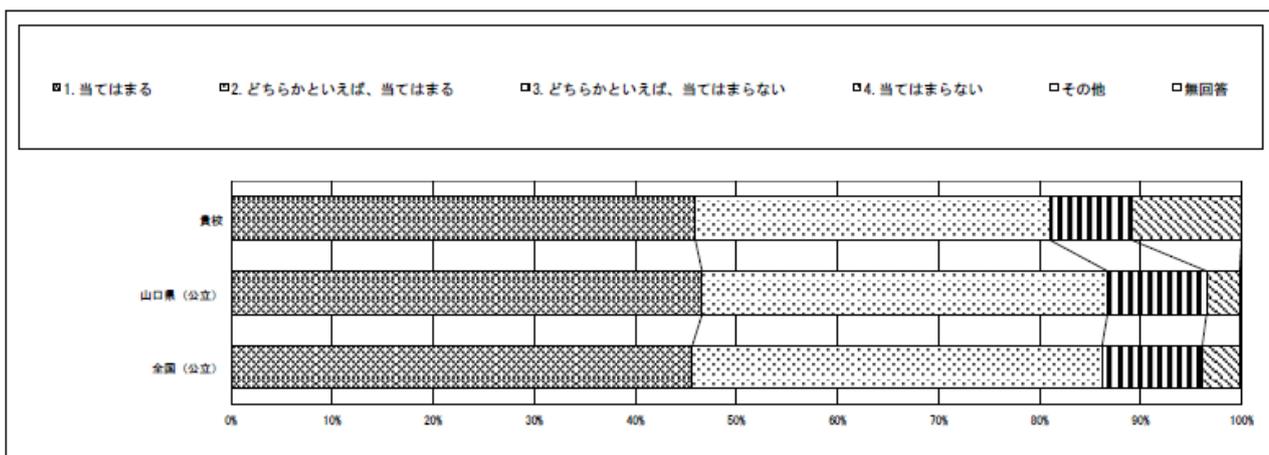
●いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



●人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



●学校に行くのは楽しいと思いますか。

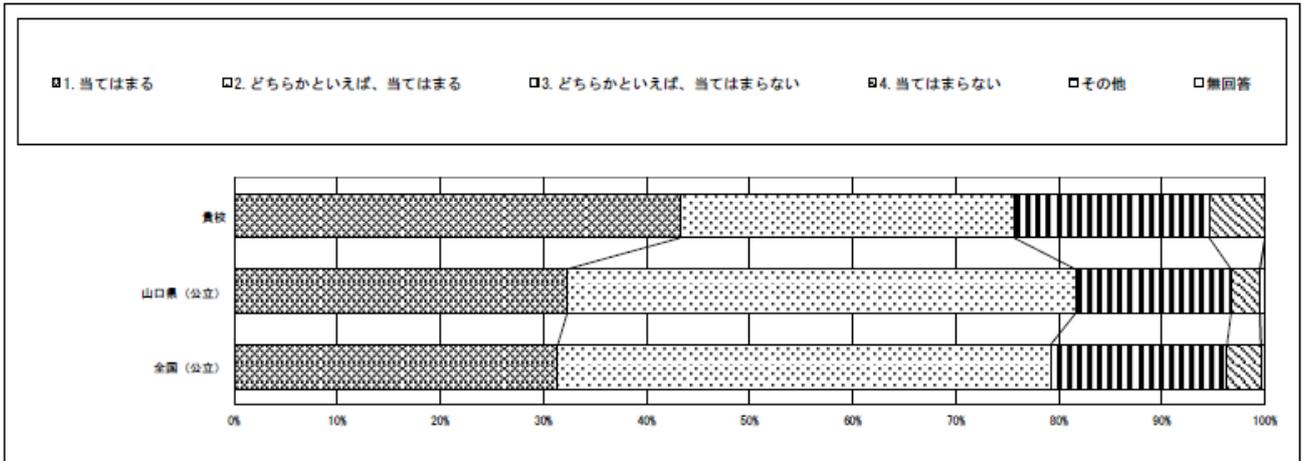


規範意識・自己有用感に関する質問事項において、「自分にはよいところがあるか」という質問で、自分を肯定的に捉えている生徒が多くいることが分かる反面、「人の役に立つ人間になりたいか」「困っている人を進んで助けているか」という質問では、「当てはまる」の回答が全国・山口県平均を下回っていることが分かります。

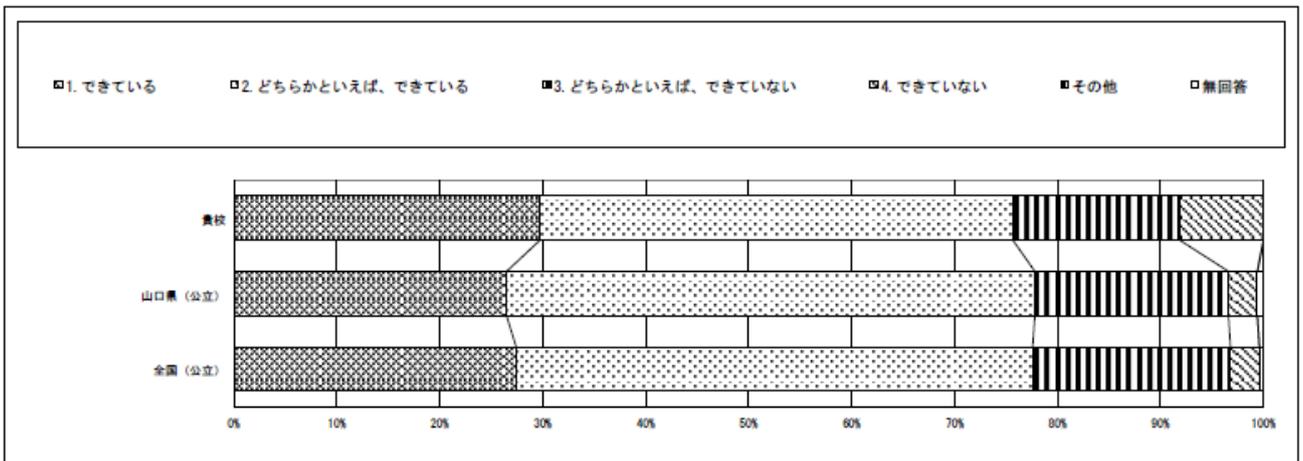
学校生活を楽しいと感じている生徒が多く、また次頁に示す学習への興味・関心に関する設問でも前向きな回答が多く見られます。こうした結果を踏まえ、今後は学校における人とのつながりをより大切にしつつ、生徒が将来についてより具体的な展望を描けるよう支援していきたいと考えています。

<学習に対する興味・関心>

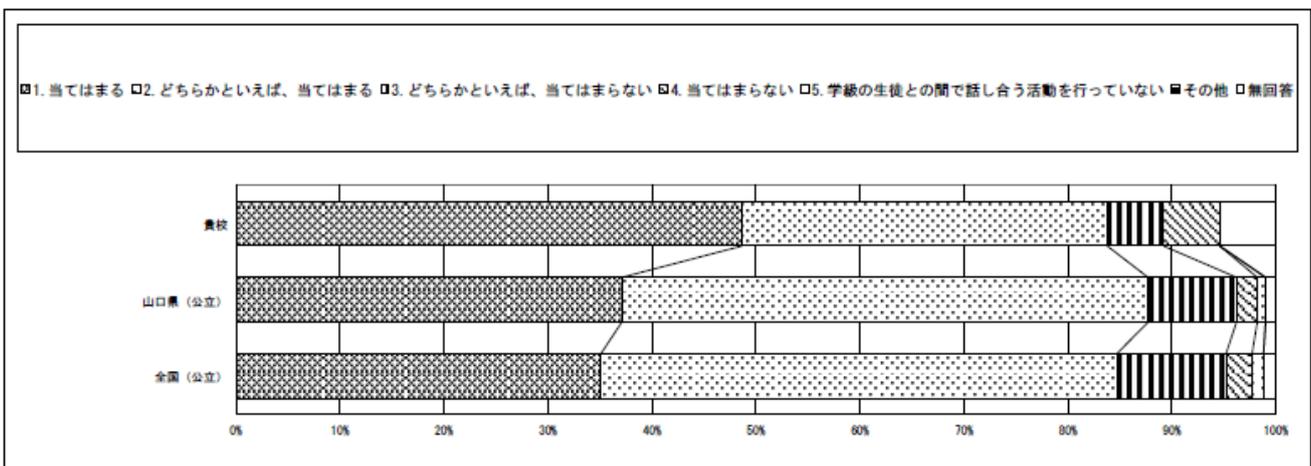
●自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



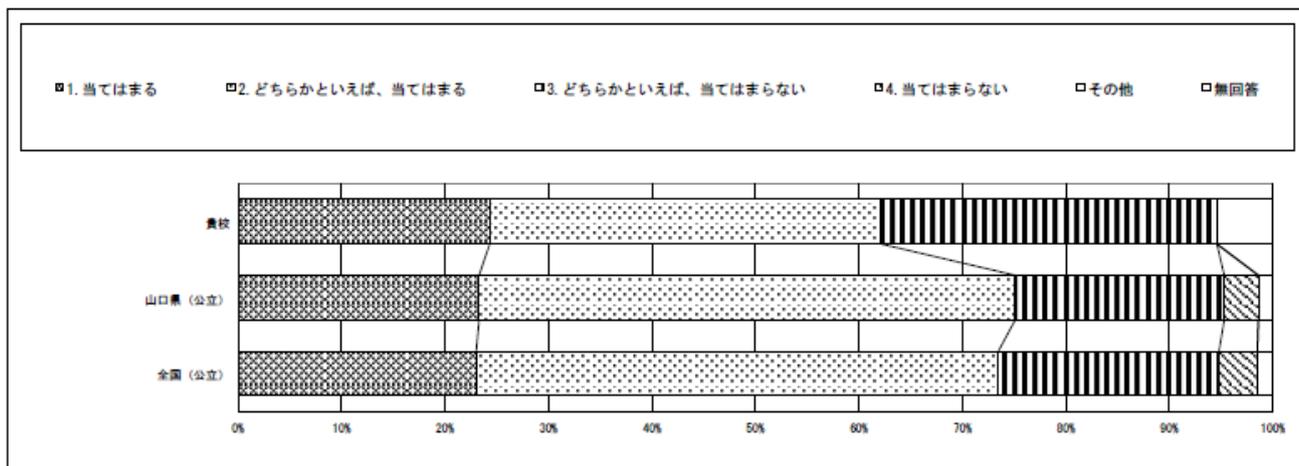
●分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



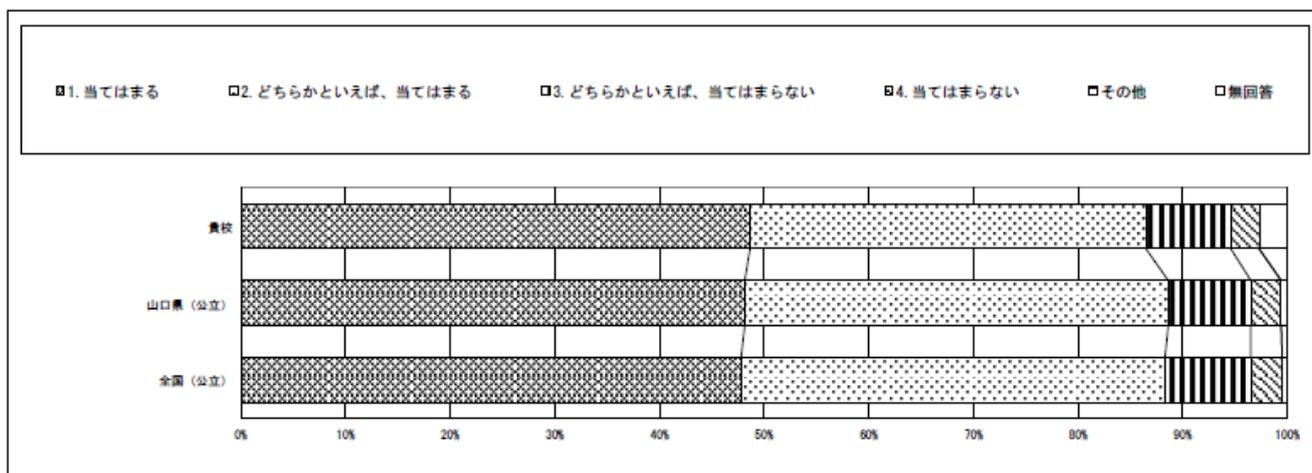
●学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



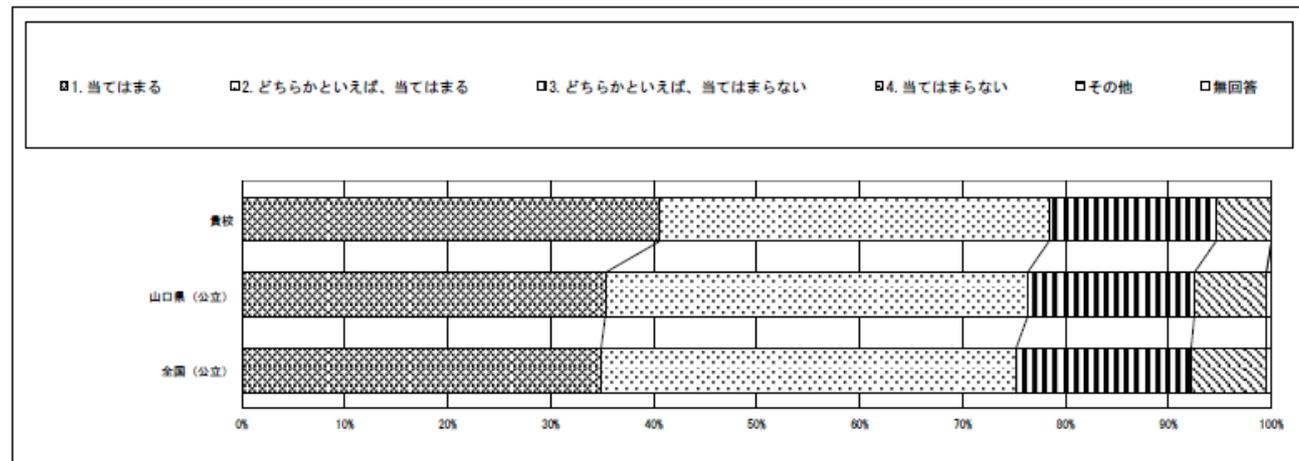
●学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



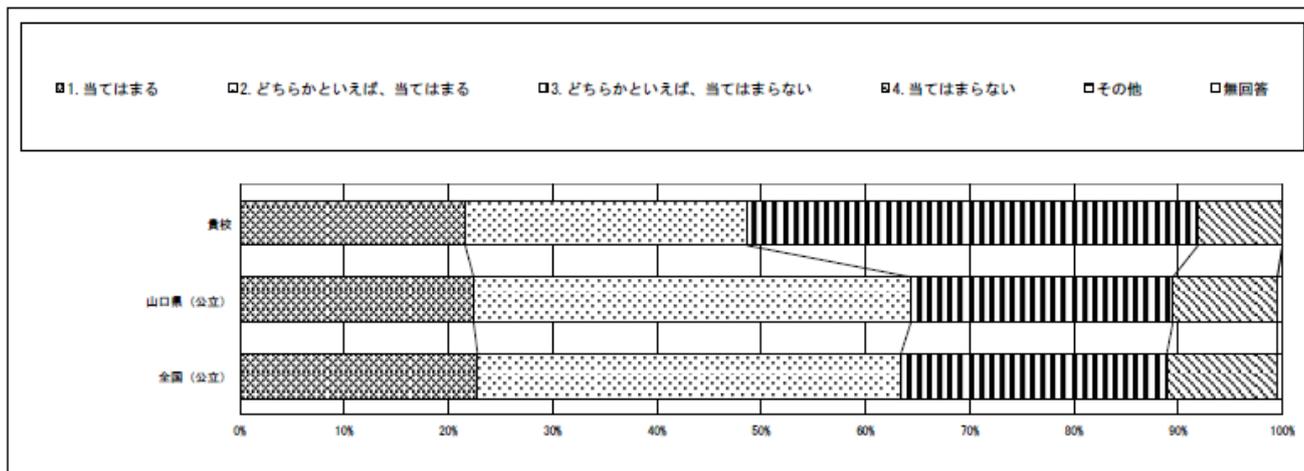
●国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



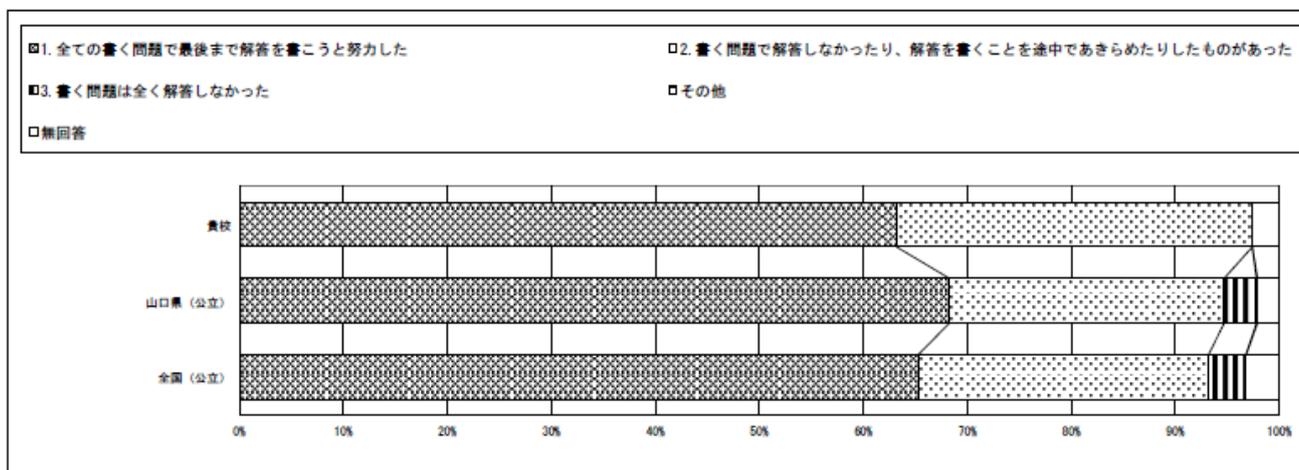
●数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



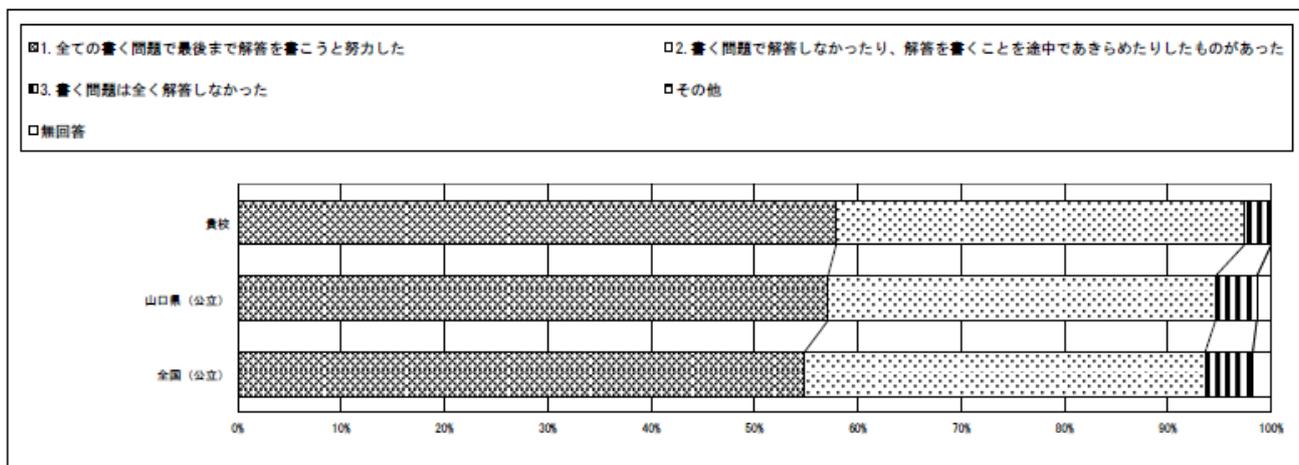
●理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



●今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。



●今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。



各教科の授業において、生徒同士のやりとりが自然に生まれるように工夫しながら授業を構成しています。自分の考えを分かりやすく表現する力や、相手の意見を受け止める姿勢を養い、異なる考えに触れることで思考や理解をさらに深めていくことを目標としています。学習への関心に関する調査では、「自分と異なる意見を考えるのが面白い」と答えた生徒の割合が、全国や山口県の平均を上回っていたことは大変励みになる結果でした。今後も、対話を通じて多

様な視点や価値観に触れられる授業を続けていきたいと考えています。

一方で、国語や数学を「将来役に立つ」と考えている生徒が多いにもかかわらず、実際の問題解決場面では「記述式の問題に一切答えなかった」生徒が一定数いたことも明らかになりました。自分の考えを文章で的確に示す力や、それを支える語彙力を鍛え、記述問題にも粘り強く取り組める生徒を育てる必要があります。今後は「記述式の問題に全く取り組まない生徒」をなくすことをめざし、表現力の育成に一層力を入れていきたいと思ひます。

.....

生徒質問紙の項目から見える生徒の意識や習慣には、これから生徒の力を伸ばしていくための手掛かりがたくさんあります。今後、生徒たちが、たくさんの幅広い情報や多様な人々の考えに触れ、さらに自信と意欲をもって具体的に行動する体験を重ねていけるよう、しっかりと支援していきたいと思ひます。

これからも地域・家庭・学校の連携のもとに教育活動を進めていけるよう、ご協力をお願いいたします。